

## 就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	ネクステクノ	
人員配置区分	1. I 型 (7.5 : 1)	2. II 型 (10 : 1)
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	ネット	(公表場所) 法人ホームページ  (URL) <a href="https://www.nextus-japan.com/">https://www.nextus-japan.com/</a>
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。





注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ネクステクノ	事業所番号	1810102325
住所	福井市高柳1丁目1302	管理者名	足田 耕二
電話番号	0776-54-7665	対象年度	令和3年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>施設内での受託業務として、下記の事業を実施</p> <p>①福井市西開発の(有)小金屋食品の製造する納豆用大豆の選別業務</p> <p>②坂井市丸岡町竹田地区で生産するハーブティーのバック詰め</p> <p>①は2018年12月から、②は2021年1月からそれぞれ作業している</p> <p>原則毎日利用者が2～5名程度作業にあっている</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>※利用者による大豆の選別作業の様子</p>   <p>※利用者によるハーブ袋詰めの様子</p>  <p>↑楽天市場やふるさと納税等でも販売されています。</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>大豆はそのままだと粉などに加工される品質の低い物をJA福井県様より仕入れ、地産地消に向けた取り組みとしている</p> <p>バジルは丸岡竹田地区と福井市清水地区の過疎による耕作放棄地を有効活用している</p> <p>共に地域の中小企業や農業法人等の生産に協力し、農地保全・景観維持・廃棄ロス・集落の活性化や雇用の創出を目的としている</p>	<p>納豆もハーブもスーパーや道の駅など利用者の日常に触れるところに商品がなることで、作業へのやりがいや自信につながりやすく、利用者への訓練や成長のためになる。</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>小金屋食品の大豆は「東京納豆」などの高ブランド品や学校給食に提供を実現しており、収益性の向上や食育および地産地消に貢献している</p> <p>セレクションのバジルは県内の各道の駅での販売および坂井市のふるさと納税の返礼品に選んで頂き竹田地区の発展に寄与している</p> <p>ハーブは生産を地域の認定農業者・加工を福井県セルブ(B型)と当社(A型)、包装をワークかすみ(B型)、福祉・農業・行政(販売)が連携できている</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>小金屋食品様</p> <p>品質が悪いためJAが販売困難な商品を大量に購入(1か月あたり約5000キロ)できており、JAおよび生産者の方々から非常に喜んで頂いている。</p> <p>県外の大企業との価格競争が激しいため、大きなコストカットが出来ており更なるパート雇用や障害者雇用も検討できるようになった。</p> <p>年によって非常にいい品質の大豆が市場に大量に出回ると作業が無くなってしまい取引がゼロになってしまうことが課題(2020年後半)だったが、小金屋食品様の買い付け努力により少しずつ改善されている。</p>			
<p>セレクション様</p> <p>今までは自分でバック詰め等の作業をしていたが、当社との連携により営業・販売に時間を割くことが出来るようになり売り上げが上がった。</p> <p>販売量が増えたことで近隣の耕作放棄地を更に借り上げてハーブの栽培面積を増やす予定であり、近隣の住民や農業者からも喜ばれている。</p> <p>今後はハーブティーだけでなくバスタなどの加工食品に練りこんだり、より高価格帯の販路やネット上での県外への販売を拡大するといった点が課題であり目標。</p>			
<p>連携先企業名</p>	<p>(有)小金屋食品 セレクション ハーブ事業部(認定農業者)</p>	<p>担当者名</p>	<p>代表取締役社長 北得 克則 代表 戸川 隆</p>

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ネクステクノ
住 所	福井市高柳1丁目1302
電話番号	0776-54-7665

事業所番号	1810102325
管理者名	足田 耕二
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		40 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方 (※)		25 点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)	6	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(IV) 支援力向上 (※)		35 点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合	○	
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	8	

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点	25点		40点			40
多様な働き方	0点		15点	25点		35点			25
支援力向上	0点		15点	25点		35点			35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
150	点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(I) 労働時間

前年度 (令和3年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	48,411	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	10,983	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.41	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間 (4月~3月)

前々年度 (令和2年度)

生産活動収入から経費を除いた額	38,430,143	円	利用者に支払った資金総額	36,463,930	円	収支	1,966,213	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度 (令和3年度)

生産活動収入から経費を除いた額	43,059,197	円	利用者に支払った資金総額	40,873,583	円	収支	2,185,614	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (令和2年度) における実績 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を活用した人数 ● 名

※取得を進めた免許等: ○○○

制度の活用内容: ○○○

②利用者を職員として登用する制度

②職員として登用した人数 ● 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日: ●年 ●月 ●日

勤務形態: ○○○

就業時間: ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務を行った人数 ● 名

※実施した期間: ●月●日~●月●日

就業時間 (在宅勤務): ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制を活用した人数 ● 名

※実施した期間: ●月●日~●月●日

就業時間 (コアタイム): ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に従事した人数 ● 名

※実施した期間: ●月●日~●月●日

就業時間 (短時間): ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度を活用した人数 ● 名

※実施した期間: ●月●日~●月●日

就業時間 (早出の場合): ●時●分~●時●分

就業時間 (遅出の場合): ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 10 名

◎計画的付与制度を活用した人数 0 名

※取得した制度: 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間: 3月21日~4月20日

取得日数・時間 日 78時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 ● 名

※取得した内容: ○○○

取得した期間: ●月●日~●月●日

就業時間: ●時●分~●時●分

職務内容: ○○○

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度 (令和2年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 2回/内部 0回

対象職員数 11 人

うち研修受講者数 6 人

※研修名: 弊業の持続確保への新たな工程導入による品質向上への取組について

研修講師 (株) ベストアグフーズ 代表取締役社長 平井 豪

実施日・受講者数 6 月 17 日 6 人

※研修名: 新型設備機械導入による業務効率化と生産力向上

研修講師 セレクションハープ事業 代表 戸川 隆

実施日・受講者数 12 月 14 日 6 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回

※研修、学会等名: 進路に関する学習会 (福井県立福井東特別支援学校)

実施日: 11 月 13 日

※学会誌等名:

掲載日:

発表テーマ:

③視察・実習の実施又は受け入れ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名: 宿泊型自立訓練事業 CoCoやわらぎ

実施日/参加者数 5 月 28 日 2 人

※他の事業所名:

実施日/参加者数:

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 2 回

※商談会等名: 農福マルシェ&セルフ商品販売会

主催者名: (福) 福井県セルフ振興センター

日時: 10 月 22 日

10 月 24 日

内容: 農福連携事業に関する販売会

ブースは出さずに取引先と共に販売会に参加

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 H28 年 4 月 1 日

人事評価制度の対象職員数 11 名

うち昇給・昇格を行った者 7 名

当該人事評価制度の周知方法: 昇給体制および評価の仕組みの掲示

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間: ●月●日~●月●日

就業時間:

職務内容: ○○○

⑦第三者評価

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日: ●月●日

第三者評価機関: ○○○

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日: ●月●日

規格等の内容: ○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、